

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2004-349167(P2004-349167A)

【公開日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-146505(P2003-146505)

【国際特許分類】

H 01 B	1/00	(2006.01)
C 01 B	13/14	(2006.01)
C 01 G	23/047	(2006.01)
C 08 K	9/02	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)
G 03 G	9/08	(2006.01)
H 01 B	1/20	(2006.01)
H 01 B	5/00	(2006.01)

【F I】

H 01 B	1/00	D
C 01 B	13/14	A
C 01 G	23/047	
C 08 K	9/02	
C 08 L	101/00	
G 03 G	9/08	3 7 4
H 01 B	1/20	Z
H 01 B	5/00	D

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月24日(2006.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、高導電性で、かつ白色度の高い白色導電性粉末及びその応用に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

近年、リンを含有する酸化スズを被覆した導電性粉末が考えられ、特開平6-207118号公報(特許文献1)が開示され、酸化スズを含む酸化インジウムを被覆した導電性粉末が、例えば特開平6-338213号公報(特許文献2)あるいは特開平8-231883号公報(特許文献3)等に開示されている。これらの粉末は非常に良好な導電性能及び経時安定性を有しており、原料となるインジウムの価格が非常に高いことから、コストの面で使用用途が限定されるという問題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

本発明者らは、上記の従来の問題点を解決するため、鋭意研究を重ね、良好な導電性能を有しながら経時安定性に優れ、且つ高価なインジウムを使用せずに、安価で白色度の高い白色導電性粉末を既に特願2000-381638（特開2002-179948号公報；特許文献4）として出願した。当該白色導電性粉末は、白色無機顔料粒子の表面に、タンクステン元素を含む二酸化スズの被覆層を有することを特徴とする白色導電性粉末であり、粉体として初期の体積固有抵抗値が500・cm以下、該体積固有抵抗値の経時変化幅が50、10日間の条件下で100・cm以下であることを特徴とし、導電性能において優れたものである。